

明治国際医療大学だより

Meiji University of Integrative Medicine
NEWS LETTER

2025
Vol. 29



未来への種を蒔く

令和7年4月8日、鍼灸学科37名、柔道整復学科44名、看護学科37名、救急救命学科69名、大学院14名の新生を迎えました。大学キャンパスは若い学生の息吹で、満ち溢れています。彼らはまだ磨かれていない原石であり、無限の可能性を秘めています。彼らを研磨（育成）し、必要な知識や経験を備えた社会人として世に送り出すことこそ、大学の使命と考えています。

世界は気候変動やトランプ関税に翻弄され、混迷を深めています。日本も長寿社会を迎え、人生100年時代の生き方を真剣に考えなければならない時代です。戦後ベラリズムで教育されてきた世代の価値観だけでは、乗り越えることが難しい世の中になってきています。このような予測不可能な時代では、自ら考える力が必要です。そのための各学科の教学システムとして、本学では反転学習を推進し、自分で考える教育を行っています。

今年、本学の経営母体である明治東洋医学院は創立100周年を迎えます。「未来への種を蒔く」をスローガンに、令和9年4月には「農学部食農エコロジー学科」を新設する予定です。地域や地球環境への関心を持ち、食と農を通じて持続可能で豊かに暮らせる社会について考える人材を育成する大きなプロジェクトであります。本学の建学の精神の一つである「自然との調和」は、本学が取り組むべき大きな目標です。次の100年へ、この種がどのように枝葉をつけ、幹を太くするのは次世代を担う若者たちに託されています。



学長 勝見泰和

鍼灸学部 鍼灸学科

Faculty of Acupuncture and Moxibustion

入学式のご報告と新任教員紹介

4月8日、谷口健蔵記念講堂において入学式が執り行われ、鍼灸学部は新たに37名の学生を迎え入れました。桜の花も咲き誇る中、新入生たちは期待と少しの緊張を胸に、新たな一步を踏み出しました。教員一同、これからの学生生活が充実したものとなるよう、全力でサポートしてまいります。

また、この春から鍼灸学部には新たに3名の教員が加わりました。それぞれの専門分野や個性を活かし、学生の皆さんと共に学びを深めてまいります。

以下に、先生方からの自己紹介とメッセージをご紹介します。



丸茂 栄士郎 先生
(専門：鍼灸学)

明治東洋医学院専門学校で19年間教員をしていました。大学では1年目となりますが、これまでの経験を活かし、“楽しく、厳しく、面白く”学生の学びを支えていきたいと思います。



今野 壮大 先生
(専門：アスレティックトレーニング学・トレーニング科学・スポーツ医学・サッカー・野球)

鍼灸師やトレーナーを目指す学生を全力で支えます。授業や課外活動を通じて、実践で役立つ知識や技術、人間性を共に磨いていきましょう！



小路 勇太 先生
(専門：鍼灸学・スポーツ・陸上競技)

1年生のクラスアドバイザーと国家試験勉強のサポートを担当しています。学生の皆さんが大学生活をより良いものにできるよう、精一杯取り組んでまいります。

保健医療学部 柔道整復学科

Faculty of Judo Seihuku Therapy

1年生は入学してから早5ヶ月が経ち、そろそろ大学生活に馴染んで来ました。例年この時期に新入生は、大学がある日吉町を知ってもらふ事と、地元の農家の方々と交流し、地域との連携と協力を得る目的でエゴマ農業体験実習を行っています。参加した地域の方々と学生たちからは、非常に楽しく日吉町の事が理解できたと感想をもらい、大変有意義なものとなりました。

2年生・3年生は、大学生活に慣れてきたところで、更に同級生との交流を深める目的で、大学内設置のBBQコーナーでBBQを開催し、全員一丸となって共同作業で、食べ物を準備し、楽しい時間を過ごしなが、残りの大学生活を満喫する事を決意したようでした。



保健医療学部 救急救命学科

Faculty of Emergency Medical Science

救急救命学科では、1年次から段階的な実習プログラムを実施し、確実な技術の習得と実践力の向上を目指しています。

【命を救う技術の第一歩】1年生「救急処置実習 A-I」

1年生の「救急処置実習A-I」では、一次救命処置（胸骨圧迫・AED）、バイタルサインの測定、応急手当など、救急救命士としての基盤となる技術習得に励みました。

前期末には総合想定訓練を行い、隊としての連携を通じて知識と技術を実践的に身につける機会となりました。初めて医療機器に触れる学生も多く、当初は戸惑いも見られましたが、指導教員の丁寧な助言や繰り返しの訓練により、着実に確実な技術を習得しています。

後期には、より高度な救急活動を想定した実習が控えており、学生たちは次のステップへの挑戦に大きな意欲を抱いています。



【水域救助のスペシャリストへ】 2年生「ウォーターレスキュー実習」



2年生の「ウォーターレスキュー実習」では、1年次にライフセービング実習で海での経験を積んだ学生たちが、今度は河川での救助活動に挑みました。流水中での歩行技術や河川特有の泳法、ロープワーク、操船技術などを実践的に学び、自然環境ならではの厳しさと臨機応変な判断力の必要性を肌で感じる貴重な機会となりました。また、最終日にはラフティングを行い、自然の力を体感するとともに、仲間との絆を一層深めました。

こうした段階的な実習を通じて、学生たちは確実に成長を重ねています。知識と技術を実践に結びつけることで、現場で真に活躍できる救急救命士の育成を目指しています。

看護学部 看護学科

Faculty of Nursing Science

一度、参加してみてください!! 看護体験を重視したオープンキャンパス実施中!!

近年の少子化やコロナ禍を体験したことにより、看護師を目指す学生が少なくなっている現状があります。本校の看護学部においても、年々、入学志願者が減ってきており、看護学部は定員80名でしたが、2026年からは50名定員となる予定です。

看護職は大変なことも多いですが、とても重要で奥深い職種です。

看護学生にとっては、実習のしんどさや勉強の大変さもありますが、それでも、患者さんとの関わりを通してやりがいを感じることができ、卒業時には一歩も二歩も成長した姿を見せてくれます。

そこで、オープンキャンパスでは学生が主となり、看護の魅力ややりがいを伝えたいと、血圧測定や沐浴、点滴作成、採血体験を実施しています。

また、他学部と協力して動画やトークショーを開催し、学校の魅力を伝えています。

本学や、看護・救急救命・鍼灸・柔道整復に興味を持っておられる方はぜひ一度、オープンキャンパスに足を運んでみてください。参加者の皆さんが少しでも看護に興味を持てるような体験をしていただき、本学の雰囲気を感じられるよう準備して待っています。



鍼灸学研究科

Graduate School of Acupuncture and Moxibustion

豊田和晃さん、大学院で鍼刺激による味覚の改善に挑戦中 !!

今年度、大学院（博士課程）に入学された豊田さんに、大学院での研究活動についてお聞きしました。

「本学には附属病院があることが大きな特徴となっており、学生とは実習などの学修や研究活動、日常生活の健康管理まで様々な場面で関わっています。

私は本学鍼灸学科を卒業後、修士課程で「味覚」をテーマに研究をしました。修士課程の在籍中に「味覚」のテーマを活かした附属病院での研究の機会をいただき、博士課程への進学を決意しました。

附属病院での研究は多くの他職種との連携や病気のより深い知識が必要となり、指導教員の先生や附属病院内科の先生方をはじめとした多くの病院関係者の方々に助けていただきながら研究に励んでおります。

この貴重な研究経験の中で「鍼灸の研究では何が明らかになっているか」「鍼灸でなにができるのか」について問われることも多く、自分自身の専攻である鍼灸学の知識が大変重要であると改めて感じ、知識不足を痛感しました。今後は様々な分野の方と連携して研究ができる研究者を目指して残りの大学院生活を楽しく過ごしたいと思います。」



※豊田さん(写真右)。指導教授の廣先生(写真左)と一緒に。

保健医療学研究科 柔道整復学専攻

Graduate School of Health Sciences and Medical Care



「この治療法は本当にベストなのか？」——臨床現場の尽きない疑問に対し、科学的根拠をもって答えを探す。大学院は、そのための探究する力、すなわち「研究力」を養う場所です。

本専攻では、リサーチ・クエスチョンの設定から計画立案まで、物事を論理的に解決するプロセスを基礎から学びます。自らの手で真理を追究する過程は知的な興奮に満ち、そこで培われる思考力は、臨床家としての視野を大きく広げてくれるでしょう。

あなたの探求心と、今しかできない情熱。その両方を力に変え、柔道整復学の未来を一緒に創りませんか。

【在学生の声】

「学部で得た基礎を土台に、先生方のサポートを受けながら自分の興味をとことん探求できるのが大学院の魅力。競技(ハンマー投げ)と両立しながら、学びが力になっていると実感する毎日です。」(修士課程K.M.さん)

保健医療学研究科 保健学専攻

Graduate School of Health Sciences and Medical Care

保健医療学研究科保健学専攻では、2025年3月に最初の3名が修士課程を修了しました。看護師・鍼灸師1名、救急救命士1名、看護師・助産師1名は、それぞれ本学関連施設専門職、本学教員、他大学教員として、新たな一歩を踏み出しています。2025年4月には修士課程1名、博士課程2名が入学し、現在の学生数は修士課程3名、博士課程3名となっています。各学生は、学業・研究と仕事を両立させながら指導教員の下で研究テーマに沿って研究を進めています。卒業生・在校生の皆様で大学院を目指したい方は是非気軽にご相談ください。お待ちしております。



女子柔道部

全日本学生柔道優勝大会で準優勝 2年連続のメダル獲得

6月28日(土)・29日(日)の2日間、武道の聖地、日本武道館で行われた2025年度全日本学生柔道優勝大会(男子74回・女子34回)の女子1部(5人制団体)に本学女子柔道部が出場。2回戦から順当に勝ち上がり、準決勝では前回敗れている東海大学を1-0で退け決勝に進出します。初優勝を目指した決勝は、2年ぶり4度目の優勝を狙う強豪の環太平洋大学に惜しくも1-2で敗れましたが、前回の3位を上回る準優勝に輝き、2年連続のメダル獲得と躍動しました。応援ありがとうございました。



◇女子1部(5人制団体)

2回戦	明治国際医療大学	4-0	中京大学	○
3回戦	明治国際医療大学	1-0	日本大学	○
準々決勝	明治国際医療大学	3-0	東京学芸大学	○
準決勝	明治国際医療大学	1-0	東海大学	○
決勝	明治国際医療大学	1-2	環太平洋大学	●

準優勝 明治国際医療大学

山本 空(鍼灸学科4年)	西森奈花(看護学科3年)
竹原妃葉(柔道整復学科2年)	山里椿華(救急救命学科2年)
金岡瑠華(救急救命学科2年)	井上果音(柔道整復学科4年)
高木水月(救急救命学科4年)	川口鈴王(柔道整復学科4年)



女子剣道部

全日本女子学生剣道選手権で

荒井選手が3位

7月5日(土)・6日(日)の2日間、第59回全日本女子学生剣道選手権が日本武道館を舞台に開催され、本学女子剣道部から関西大会を勝ち抜いた3選手が出場。荒井茉有選手(柔道整復学科2年)が1回戦から強豪を次々と撃破し関西勢として唯一ベスト8に進出します。その準々決勝でも筑波大学の芦田選手からメンを奪い準決勝へ。準決勝では山形大学の佐藤選手に2本を奪われ惜しくも決勝進出は逃しましたが、関西勢として第49回大会以来となる3位入賞を果たすなど活躍しました。

日本インカレの女子やり投で山崎選手が5位

男子ハンマー投で中田選手が8位と

ふたりが入賞

天皇賜盃第94回日本学生陸上競技対校選手権大会(日本インカレ)が6月5日(木)から8日(日)まで4日間、岡山県のJFE晴れの国スタジアムで行われ、本学陸上競技部から5選手が出場。女子やり投で山崎絢音選手(看護学科3年)が51m86の自己新記録で過去最高の5位入賞を果たしたほか、男子ハンマー投でも中田アドリアン勝選手(柔道整復学科4年)がこちらも63m56のパーソナルベストで8位入賞と気を吐きました。



山崎選手

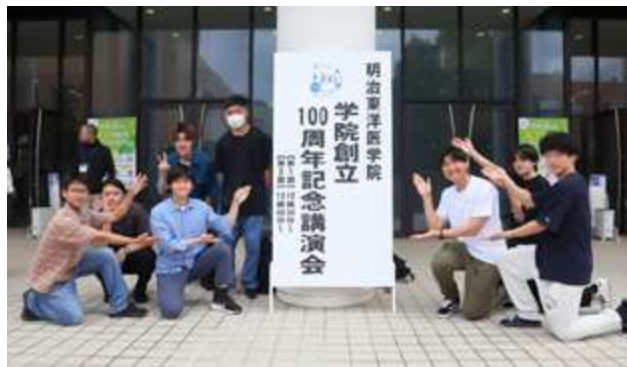


中田選手

陸上競技部

学院創立100周年記念講演会開催

2025年6月22日(日)、本学 谷口健蔵記念講堂にて「学院創立100周年記念講演会」を開催しました。本学と大学の同窓会である「なごみ会」「救明会」が主催となり、創立100周年を迎えて、本学の取組みを次世代へと繋いでいくことを目的として企画され、第1部約130名、第2部約230名の方にご参加いただきました。



第1部「大学の将来展望について」勝見泰和学長 講演

記念講演会①「環境と社会をつなぐ食農からの新しい研究地域づくり—京都・南丹からの発信—」本学農学部準備設置室長秋津元輝先生

第2部

記念講演②「医療従事者が持つべき精力善用・自他共栄の心」京都府立医科大学大学院 リハビリテーション医学 教授三上靖夫先生

記念講演③「医療系職業人としてのアイデンティティとは」本学 保健医療学部救急救命学科 教授平出敦先生

そして、次の100年へ～

2025年、明治東洋医学院は創立100周年を迎えました。

学院創立100周年記念募金はこちらから→



学生広報委員会が発足

学生が主体となり本学の魅力や学科の特色を発信することを目的に、学生広報委員会が発足しました。オープンキャンパスやSNSを通じて受験生の皆さん・保護者様に学ぶ姿や成長する姿を具体的にイメージさせるとともに、学生自身の主体性や協働性、広報的視点と表現力を育成し、キャリア形成に役立つ経験を併せて提供します。



第46回たには祭を開催します

前夜祭ライブにはじまり、学生主催の模擬店、イベントが盛り沢山。フィナーレには300基のスカイランタンを夜空へ飛ばします。学生同士、教職員の交流は勿論、地域の方々との交流も目的としていますので、多くの皆さんのご来場をお待ちしています。大いに盛り上がりましょう。



たには祭実行委員長
救急救命学科3年生
橋本隆聖くん



副委員長
救急救命学科3年生
岩本竜馬くん



イラスト 救急救命学科3年生 竹西美南海さん

10/24(金) 前夜祭ライブ
10/25(金) 10:20～18:30 予定

明治国際医療大学パブリックスペース YUI Commons ～結～(ユイコモンズ・ムスビ)が誕生しました!

～共にある場所から、あらたな“結び”が生まれる。新しい協働や出会いを生み出す場所～

整備にあたっては、教育振興会に出資をいただき、学院創立100周年記念事業の一環として実施いたしました。

開設の趣旨としましては、学部・学年を越えたコミュニケーションを促進し、コミュニティの活性化を図る、個別の学習スペース、多様な学習スタイルに対応可能な快適な空間を提供することを目的としています。

去る、9月25日(木)には開設記念セレモニーを開催し、勝見学長、教育振興会榊田会長、学生委員代表 橋本隆聖(救急救命学科3年生)さんがテープカットを行いました。



学修支援センターの紹介

本学では、学生の主体的な学びを支える教育体制の充実に取り組んでいます。その一環として、令和元年に「学修支援センター」を設置し、「学習サポート」「学習意欲の喚起」「学習環境の提供」の三本柱のもと、すべての学生が安心して学べる環境づくりを進めてきました。



学修支援
センター長
河井正隆

センター内には、グループ学習に適した「ラーニング・コモンズ」と、静かに集中できる「自習室」を併設。日常的な学習の場として定着しており、現在は7名の教員が連携しながら個別相談も行っています。また、上級生が後輩の学習を支える「ピアサポーター制度」を通して、学生同士の交流と学び合いも活発に行われています。

さらに、大学生活のスタートを支援するレポート作成講座や、国際交流推進センターと連携した英語コミュニケーション能力向上セミナーなど、多彩な学修イベントも開催しています。

年間約800名がラーニング・コモンズを利用しており、「勉強の仕方がわかった」「仲間と学ぶことでやる気が出た」といった前向きな声も寄せられています。こうした取り組み一つひとつが、学びの習慣づくりや自信の醸成につながっています。

これらの活動は、教育振興会ご父兄の温かなご支援によって支えられており、心より御礼申し上げます。学生一人ひとりの主体的な学びを後押しする環境整備と支援体制の充実にあたり、継続的なご支援は大きな力となっております。

センターは今後も、学生の可能性を引き出す拠点として、教育のさらなる発展に貢献してまいります。

令和7年度 明治国際医療大学 (鍼灸学科・柔道整復学科)

合同企業説明会を開催

本学主催の合同企業説明会(5月10日(土)と7月5日(土)、2回開催)を実施しました。1回目は一般的な鍼灸・柔整関連の企業(31社)で、2回目はスポーツと美容に限定した企業(13社)で開催しました。学生たちは初めての説明会で、非常に緊張した面持ちで、熱心に説明を聞いており、普段大学で見られない規律正しい態度で、横で拝見して微笑ましく感心しました。参加した学生たちからは、これからの就職活動に役立つと非常に喜ばれました。



— 未来への挑戦 —

このたび、明治国際医療大学 教育振興会 会長再任にあたり、ご挨拶申し上げます。

平素から、教育振興会の事業にご支援ご協力を賜りまして、厚く御礼申し上げます。

より良い学生生活が送れるよう、一生懸命に尽力して参りますので、何卒宜しくお願い申し上げます。

さて、メジャーリーグで大活躍している大谷翔平選手のことは、皆さんもよく耳にされるのではないのでしょうか。大谷翔平選手は「自分の可能性を、自分で決めつけたい」と述べています。この言葉には、シンプルでありながらも、深い意味が込められていると感じます。

大谷翔平選手は高校時代に、自分の夢は「メジャーリーグで活躍する選手になる」という明確なイメージを描いていました。それを実現するために“マンガラチャート”と呼ばれる目標シートを使い、必要な努力を細分化しながら、毎日の行動に落とし込んでいたそうです。その努力と継続を積み重ねた結果、今では世界中から注目される存在へと昇り詰めました。大谷翔平選手は、自分の限界を決めずに、挑戦を重ねることが大切だと伝えてくれています。

学生の皆さんにも、同じことが言えるのではないのでしょうか。学生生活は、自分の将来を形づくる大切な時間だと言えます。しかしながら、その中で「自分には無理かもしれない」「どうせ自分なんて…」などと、自分の中で限界を作ってしまった瞬間があるかもしれません。けれど、その思い込みこそが、自分の可能性の芽を潰しているのかもしれない。

大切なことは、自分を信じて一歩を踏み出すこと。

そして、その一歩を支えてくれる人や環境に感謝の気持ちを持つことです。

この大学には、支え合える仲間も、学びの機会も、挑戦する場もそろっています。

どうか皆さん、この大学生活を通じて、自分の枠を超え、殻を破り、失敗を恐れずに、可能性を広げていってください。未来への一歩を踏み出すことを、心より願っております。

教育振興会の取り組みとして、本年度もより良い学生生活が送れるように、環境整備を始め、部活動関連、教育研究活動等に積極的に支援させて頂く所存です。大学と教育振興会とが相互に連携し合い、学生生活がより向上するようにと、心から祈っております。

会員の皆様には、心から感謝の意をお伝えするとともに、ご指導ご鞭撻を賜りますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

略儀ではございますが書中にて、ご挨拶とさせていただきます。



会長 榊田 幸雄

令和6年度 明治国際医療大学 教育振興会【事業・収支報告】

令和6年4月1日～令和7年3月31日

収入の部			支出の部		
会 費		11,020,000	教育・研究活動に関する支援		2,826,975
新入生	212名	10,600,000	クラス懇談会等支援金		705,975
新入生（編入）	2名	40,000	海外研修支援金		950,000
大学院（修士）	16名	320,000	資格取得支援金		98,000
大学院（修士）	2名	60,000	国家試験模試支援金		1,031,500
大学院（修士）			大学院生学会発表支援金		41,000
コピーカード売上		33,550	課外活動に関する支援		2,891,370
			課外活動支援金		2,066,670
			たには祭協賛金		500,000
			たには祭金券補助		324,700
			ボランティア活動支援金		0
受取利息		5,196	福利厚生費に関する支援		3,749,760
			100円朝食支援金		1,878,760
			アスリート食支援金		1,445,000
			慶弔・見舞金等		0
			アルバム購入費用補助		330,000
			卒業記念パーティー費用補助		96,000
			学修環境整備に関する支援		1,954,115
			自習室複合機リース料・印刷代他		896,969
			学修環境整備費		1,057,146
			その他の経費		2,216,239
			寄付金支出		2,000,000
			教育振興会長表彰		43,600
			会議費・役員交通費		90,344
			印刷・通信費		81,895
			事務経費		400
当 期 収 入 小 計		11,058,746	当 期 支 出 小 計		13,638,459
前 期 繰 越 金		34,142,584	次 期 繰 越 金		31,562,871
収 入 の 部 合 計		45,201,330	支 出 の 部 合 計		45,201,330

【期末預金の内訳】

次期繰越金	9,506,095円
学修環境整備費積立金	22,002,776円
計	31,562,871円

明治国際医療大学教育振興会
会長 榊田 幸雄 殿

監 査 所 見

令和6年度収支計算について、必要な監査手続きを実施した。
監査の結果、その内容は適正に表示されていることを認めます。

令和7年5月16日

監 事 国府千香代
監 事 藤井 義巳

令和7年度 明治国際医療大学 教育振興会【役員紹介】

任期：令和7年4月1日～令和8年3月31日

役 職		氏 名
会 長	正会員（1名）	榊田 幸雄
副 会 長（2名）	正会員（1名）	南平 英樹
	教職員（1名）	小川 豊清
幹 事（若干名）	正会員（若干名）	足立 征子、西森 沙恵、橋本秀太郎、樋口 由実、平岩 大明
	教職員（若干名）	河井 正隆、檀上 博、伊藤 肇敏
会 計	正会員（1名）	井尻 裕美
	教職員（1名）	松岡 佳代
監 事	正会員（1名）	国府千香代
	教職員（1名）	藤井 義巳

令和7年度 明治国際医療大学 教育振興会【事業計画・収支予算】

1. 事業計画

(1) 教育・研究活動に関する支援

クラス懇談会等の開催や、海外研修、就職活動および資格取得等を支援

①クラス懇談会等の支援（飲食費の一部補助） 1,500円×853名

②海外研修の支援（旅費の一部補助） 5万円×15名

③資格取得の支援（技能検定等の一部補助） 1万円×10名

④国家試験模試の一部補助 5,000円×233名

⑤大学院生学会発表に対する支援 1万円（上限）×20名

(2) 課外活動に関する支援

クラブ活動、大学祭等の大学行事及びボランティア活動への支援

①課外活動の支援（部活支援・全国大会出場激励金等） 100万円

②たには祭の協賛金 50万円

③たには祭の金券補助 1,000円×300名

(3) 福利厚生に関する支援

健康保持・増進のため100円朝食の提供など、福利厚生を支援

①食育の支援（朝食料金の一部補助） 260円×月850食×10ヵ月

②アスリート食の支援（朝食料金の一部補助） 50円×25日×月97食×12ヵ月

③卒業アルバム費用の補助 3,000円×61名

④自動販売機運営費用22,000円×2台×12ヵ月

(4) 学修環境の整備に関する支援

学修環境充実のための備品、用品および出版物等の整備

①学修支援センター複合機リース料、印刷代（コピーカード配付500枚/人）100万
学習環境整備費積立金よりパブリックスペース整備工事 1,900万円支出

②図書の寄贈 10万円

(5) その他

①教育振興会会長表彰 11,000円×4学科

②役員会への出席に伴う交通費の負担

③印刷・通信費（大学だより印刷費・役員会開催案内状の印刷・発送・会議費等）

④事業計画・収支予算および事業報告・収支決算の公表（印刷・発送）

2. 収支予算（令和7年4月1日～令和8年3月31日）

収 入 の 部			支 出 の 部		
会 費		9,665,000	教育・研究活動に関する支援		3,494,500
新入生	187名	9,350,000	クラス懇談会等支援金		1,279,500
新入生（編入）	1名	20,000	海外研修支援金		750,000
大学院（修士）	14名	280,000	資格取得支援金		100,000
大学院（博士）	5名	15,000	国家試験模試支援金		1,165,000
			大学院生学会発表支援金		200,000
コピーカード売上		30,000	課外活動に関する支援		1,800,000
			課外活動支援金		1,000,000
			たには祭協賛金		500,000
			たには祭金券補助		300,000
受取利息		5,000	福利厚生に関する支援		4,376,000
			100円朝食支援金		2,210,000
			アスリート食支援金		1,455,000
			アルバム購入費用補助		183,000
			自動販売機運営費補助		528,000
			学修環境整備に関する支援		1,100,000
			自習室複合機リース・印刷代他		1,000,000
			図書の寄贈		100,000
			その他の経費		254,000
			教育振興会会長表彰		44,000
			会議費・役員交通費		100,000
			印刷・通信費		100,000
			事務経費		10,000
当 期 収 入 小 計		9,700,000	当 期 支 出 小 計		11,024,500
前 期 繰 越 金		31,562,871	次 期 繰 越 金		30,238,371
収 入 の 部 合 計		41,262,871	支 出 の 部 合 計		41,262,871

Special Interview 女子柔道部・高木主将に聞く

準優勝の舞台裏とこれからの挑戦

インタビュー
スポーツ振興部
中村部長

柔道部
高木主将



中村 まず、女子第34回全日本学生柔道優勝大会、準優勝おめでとうございます。

高木 ありがとうございます。

中村 昨年は準決勝で東海大学に敗れましたが、今回は見事に雪辱を果たしましたね。準決勝で優勝候補の東海大学に勝ったとき、率直にどう感じましたか？

高木 昨年の全国大会で負けて、「自分たちは挑戦者だ」と思ってたんです。小川監督からも「全部出し切れ」と言われていたので、自分も他の選手も「やれるだけやろう」「楽しもう」と前向きな気持ちで試合に臨みました。それが勝ちに繋がったと思います。

中村 先鋒で1勝したあとは接戦が続きましたが、チームの底力を感じました。決勝戦、環太平洋大学との対戦では、一敗二分けの状況で副将として登場しましたね。もし負ければチームの敗戦が決まるという場面で、小外刈りで有効勝ちを収めました。あの瞬間、自分としてはどう感じていましたか？

高木 自分の前の選手が一本負けしていたので、「自分が取られてはいけない」とも思いましたが、それよりも「自分が取って、まだ勝負を決めさせない」と強く思って臨みました。関西大会では自分が負けてしまったので、「意地を見せよう」と思っていて、あまりプレッシャーは感じませんでした。

中村 「意地を見せた」ということですが、性格的には負けず嫌いですか？

高木 めちゃくちゃ負けず嫌いです！(笑)

中村 やつぱりそうですね。あなたが勝って試合は振り出しに戻りましたが、その後の大将戦で惜しくも敗れてしまいました。そのときの気持ちはどうでしたか？

高木 チームとして負けたのは悔しかったです。応援の声もたくさん聞こえてきて、みんな最後まで戦い切れたという満足感がありました。

この大学で柔道をしたい

中村 あなたは福岡・敬愛高校出身ですね。高校時代もインターハイで活躍され、いろんな大学から誘いがあったと思いますが、医療系の地方大学である本学を選んだのはなぜですか？

高木 小川先生からは高校1年生の頃から声をかけて

ていただいていたので、練習や合宿で大学に来たこともありました。中学生の頃から救急救命士に憧れていて、資格が取れるこの大学を選びました。ずっと前から「この大学で柔道がしたい」と思っていました。

主将として、笑顔でチームを引っ張る

中村 10月には7人制の体重別団体戦があります。再び環太平洋大学との対戦も予想されますが、今後の目標は？

高木 はい、次はリベンジして日本一を取りたいです。個人戦でも全国優勝が目標です。

中村 7人制になるとさらに人が加わりますが、主将として心がけていることはありますか？

高木 団体戦なので、自分の勝ち負けにこだわらず、チームとして戦うこと。「みんながついているから大丈夫」と一人ひとりが自信を持てるようなチームにしたいです。

中村 キャプテンとしてのモットーは？

高木 「笑うこと」です。後輩からも「笑顔が似合う」と言ってもらえるので、苦しい練習も笑顔で乗り越えたいです。

中村 この大学の練習量は日本一ですか？

高木 トレーニング量は日本一だと思います！

卒業後、そしてオリンピックへ

中村 卒業後はJR東日本に内定とのことですが、選んだ理由は？



高木 日本の実業団でトップレベルというのがありますし、大学・高校の先輩が多くいて、練習に行かせてもらったときの雰囲気や指導がとてもよく、「ここで柔道がしたい」と思いました。

中村 社会人になってからの目標を教えてください。

高木 一番の目標はオリンピック出場です。そのためにはシニアの大会で勝ち続けることが大事だと思うので、一つ一つの大会で優勝を目指します。

中村 中学、高校、大学、そしてシニアとカテゴリーが上がっていく中で、どんな力が必要だと感じますか？

高木 苦しい状況でも冷静に判断して、気持ちで負けないこと。それを一番大事にしています。

後輩たちへ、熱いメッセージ

中村 最後に、後輩へのメッセージをお願いします。

高木 本当に苦しい日々や、結果が出なくてつらい時期もあると思います。でも、全国大会で2位になったときの喜びや悔しさは、「やってきてよかった」と思える瞬間です。目標である「日本一」は簡単なことではないけど、そこまでの過程が大事だと思います。みんなで、7人制団体戦でリベンジしましょう！

中村 一人ひとりが毎日の積み重ねを大切にして、チーム全体の力に繋がっていく。その姿が、他の競技の学生たちの手本になると思います。今後のさらなる活躍を期待しています！

高木 ありがとうございます！

奨学金・教育ローン

本学では、学生の学びをサポートする多彩な奨学金制度が利用できます。各奨学金ごとに説明会を開催し、経済支援に関する相談にも個別に応じるなど、きめ細やかなサポート体制を整えています。また、本学は「高等教育の修学支援新制度（授業料減免・給付型奨学金）」の対象校として文部科学大臣より認定されています。

① 明治国際医療大学附属病院看護学生奨学金

より多くの方に学びの場や働く場を提供するために

明治国際医療大学附属病院は、地域医療を担うとともに、西洋医学と東洋医学を融合させた教育、研究の使命を果たす医療人育成の場です。当奨学金制度は、本学に入学を許可された方や在学生、かつ附属病院で就業する方を対象とします。卒業後、定められた期間（貸与の月額、年数で変動）勤務することにより、奨学金の返還が免除されます。

貸与金額 月額80,000円

貸与期間 1～4年間

② 日本学生支援機構奨学金

種類	第一種奨学金(無利息貸与)		第二種奨学金(有利息貸与)
採用基準	人物、学業ともに優れ、経済的理由により修学が困難な者。		
貸与月額	自宅通学 20,000円 30,000円 40,000円 54,000円	自宅外通学 20,000円 30,000円 40,000円 50,000円 64,000円 より選択	20,000円～120,000円 より選択(1万円単位)

※高校卒業後の進学に備えて、高校3年次に在学している高校を通して奨学金貸与を予約する「予約採用」、大学進学後に奨学金貸与を申し込む「在学採用」、家計の急変で奨学金を緊急に必要とする場合の「緊急採用・応急採用」があります。また、「給付型奨学金」もあります。

③ 京都府看護師等修学資金（一般枠、北部特別枠）

制度内容	京都府の看護師確保対策の一環として、京都府北部地域や200床未満の病院、診療所、介護老人保健施設等に従事する意思のある方へ、修学のための資金の貸与を行う制度です。なお、これら免除対象施設への一定期間の就業をもって修学資金の返還が免除されます。
貸与月額	36,000円／貸与期間1～4年間

※滋賀県等にも同様の制度があります。

④ 医療法人等各病院の奨学金

制度内容	本学看護学部学生を対象に、各病院が定めた選考基準により、奨学金を貸与する制度です。卒業時には返還義務が生じますが、当該病院へ勤務し、定められた期間を就業することにより、返還義務が免除される場合があります。
貸与月額	20,000円～100,000円／貸与期間1～4年間

※何年次からでも申請可。

⑤ 国の教育ローン（日本政策金融公庫）

基準	大学などに入学、在学される方の保護者が対象で、扶養している子どもの人数によって世帯収入（所得）の上限額が異なります。詳細については、教育ローンコールセンター（TEL：0570-008656）にお問い合わせください。
融資額	350万円以内* 金利 年2.65%（2025年3月現在）
返還方法	18年以内

※一定の要件に該当すれば450万円以内。

⑥ ジャックス教育ローン

基準	本学に入学、在学される方の保護者または本人（社会人に限る）が対象。詳細については、ジャックスコンシューマードesk（TEL：0120-338-817）にお問い合わせ、または「ジャックス教育ローン」で検索してください。
借入金額	大学発行の学費納付書に記載の金額 金利 年3.8%（2025年4月現在）
借入期間	16年10カ月以内

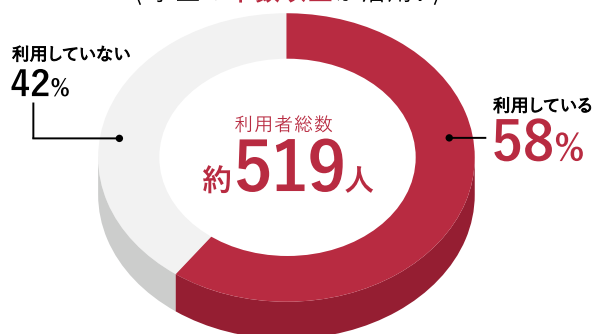
各種奨学金利用状況

多くの学生が各種奨学金制度を利用しています。

名 称	利用人数(実人数)	
日本学生支援機構奨学金	給付 149人	471人
	貸与 433人	
医療法人等各病院の奨学金	18人	
看護師等修学資金(京都・滋賀)	20人	
そ の 他	10人	

※在学生888人中（2024年5月1日現在）

＼学生の半数以上が活用！／





明治国際医療大学

看護学部[看護学科] * 保健医療学部[救急救命学科・柔道整復学科] * 鍼灸学部[鍼灸学科]
大学院[鍼灸学研究科・保健医療学研究科]

〒629-0392 京都府南丹市日吉町 TEL 0771-72-1181 FAX 0771-72-1189 E-mail gakusei-shien@mst.meiji-u.ac.jp



財団法人日本高等
教育評価機構より
大学評価基準を
満たしていると認定
されました。